

<G7広島サミット 評価の分岐点>

ジャーナリスト(広島テレビ顧問) 三山 秀昭

<ゲームとしてのサミット・ミニクイズ>

- ① G7のGって何ですか？
A. government B. great C. group D. global
- ② G7 首脳会議の正式会議(招待国は含まず)に出席する首脳は何人ですか？
A. 7人 B. 8人 C. 9人
- ③ サミットの記念写真撮影での首脳の立ち位置は？
A. 決まっている B. 決まっていない C. 決まっているようで決まっていない。
(ウイリアムズバーグの時の中曽根首相など)
- ④ 何がきっかけで始まったのですか？
A. ベトナム戦争 B. 湾岸戦争 C. 中東戦争
- ⑤ 誰が提唱者なのですか？
A. レーガン米大統領 B. サッチャー英首相 C. ジスカールデスタン仏大統領

<サミットの歴史と広島サミットの意義と意味>

- ① G7広島サミット(5月19~21日)が49回目(2020年はコロナで中止、トランプ再選利用にメルケルが難色)(2014年はロシアのクリミア侵攻でソチ→ブリュッセル)
- ② 日本では7回目、東京3回、沖縄(2000)、洞爺湖(2008)、伊勢志摩(2016)
- ③ 広島サミットは近年のリゾートサミットではなく、街中サミット。宮島(住民1400人)セッション→陸上、海上、上空警備。カキ筏の移転、手術室の確保
- ④ 過去48回のサミットの中で、開催地と討議テーマが密接不可分なのは初めて。
- ⑤ **米英仏の核保有国首脳**が集まる。**核シェアリングのドイツ、イタリアも。G20 議長国のインド(核保有国)も。**ブラジル(次期G20)、インドネシア(ASEAN)、韓国、オーストラリア、ベトナム、クック(太平洋諸島フォーラム)、コロモ(アフリカ連合)国際機関も
- ⑥ 初回(1975)は第4次中東戦争(73)→エネルギー危機→世界的インフレ→今回と相似。
- ⑦ 当初は経済サミット、6回目1980年ヴェネチアサミットから政治サミットに。前年暮のソ連のアフガニスタン侵攻→モスクワ五輪ボイコット→今回と相似形。
- ⑧ 「ウクライナは明日の東アジア」という岸田首相の問題提起。G7の結束→1983年のウイリアムズバーグ(米)サミットの中曽根首相の「西側の安全は不可分」→グローバルゼロ→INF全廃条約→ベルリンの壁崩壊→冷戦終結への流れとの相似形。

<G7 広島サミットでの注目点=評価の分岐点>

- ⑨ G7 広島サミットの討議テーマ
ウクライナ情勢、「法の支配による国際秩序の維持」、対中国、エネルギー、食料、インフレ、気候変動、グローバルサウス、核軍縮・核拡散防止。
- ⑩ 地元広島の要望=3点セット
慰霊碑に献花→資料館視察→被爆者の証言を聞くか？ 被爆者は広島、長崎双方か？
- ⑪ 核保有国、核の傘の国など参加の意義。
インド(核保有)、韓国、グローバルサウス(多くはロシアを非難するも制裁不参加)
ゼレンスキーのサミット参加(オンライン)
- ⑫ 「核」を巡る国際環境
「使われない兵器=核」→朝鮮戦争(マッカーサーの原爆26発使用許可→解任)、ベトナム、緊迫のキューバ危機(1962.10)、ロシアのクリミア併合(2014)
核弾頭数7万発→1万3千発。これは「核軍縮」なのか？
レーガン・ゴルバチョフのINF(中距離核戦力)全廃条約(1987)→冷戦終結。
近年の中国、北朝鮮の核戦力増強、英国も増強、米ロの核の小型化、最新型へ更新
「使われそうな核」→ロシアのウクライナ侵攻と核の恫喝→キューバ以来の核使用の現実性。
核不拡散。核保有五大国、インド、パキスタン、イスラエル、北朝鮮、(イラン)・→同時多発テロ(2001.9.11)→国家以外(IS)の核保有の危険性
核不拡散条約の再検討会議(NPT)の2回連続決裂。核兵器禁止条約の発効
- ⑬ 「ヒロシマ宣言」の内容。「核のない世界」とは言うが・・・
岸田首相の広島サミット決断のロジック。
「ロシアのウクライナ侵略の中で、広島ほど平和へのコミットメントを示すのに相応しい開催地はない」ロシアのウクライナ侵略
「被爆の実相に触れて」と求めることと「ウクライナ電撃訪問」のリンクをテコ。
岸田首相の発言「広島サミットで核軍縮の気運を高めるメッセージを発信したい」
→「77年間、核兵器が使用されていない歴史をないがしろにすることは許されないと世界に発信したい」。・・・→「法の支配に基づく国際秩序維持」。「核廃絶」「核軍縮」ではなく、「核の威嚇批判」「使わない」という「核不使用宣言」の強調。
「不使用」に米英仏が同調するか？
「ヒロシマ宣言」の実効性。ロシア、中国、北朝鮮へ「牽制」以上のものになるか？
インド、ASEAN、などグローバルサウスを引き込めるか？
- ⑭ サミット後。クワッド(5月24日)、韓国訪問(夏以降)、G20(インド、9月)、国連総会(9月)、日本・ASEAN首脳会議(11月)・・・年内はG7議長国。

<バイデン米大統領の長崎訪問へのハードル>

- ⑮ 最終的に実現するか？ エマニアエル駐日大使の働きかけ、影響力。
広島、長崎市長の連携。JFK以来のカトリック大統領だが……。ハードル高し。
ロジ、警備、バイデン自身の問題、クワッド（5.24、シドニー）との関連。
8年目のオバマと再選を狙うバイデンの違い。

<「被爆の実相に触れて」というが・・・>

- ⑯ 広島、長崎はしばしば「被爆の実相に触れて」というが、私たちはどこまで「実相」を知っているか？ 改装後の資料館をじっくり見ているか？ 国立追悼祈念館を見ているか？ 被爆遺構館を見たか？ 「ナガサキ」をどこまで知っているか？
「平和公園に行った」「原爆ドームを見た」「平和祈念像を見た」だけで、「広島、長崎へ行って来た」ことになり、「被爆の実相」に触れたつもりになっていないか？

<「歴史の実相」にも目を>

- ⑰ 「被害の実相」を越えて、なぜ、広島、長崎に原爆が投下されたのかという「歴史の実相」を私たちはどこまで知っているのか？ 「軍都」だったからなのか？ 捕虜収容所がなかったからか？ 小倉、長崎は収容所があったが。
- ⑱ 4.17 第1回目標検討委員会。結論出ず。17都市が候補に→5.11、2回目の委員会で京都、広島、横浜、小倉。→5.28 京都、広島、新潟。→スティムソン陸軍長官が京都に反対。→7.24 長崎が追加→7.25 広島、小倉、長崎、新潟に投下命令。
7.16 アラモコードで初の原爆実験→テニアン島に移送、組み立て→7.25 広島、小倉、長崎、新潟への投下命令書→8.2 攻撃は8月6日とする「優先順位」は広島、小倉、長崎に。
8.6 広島は雲量1/10 快晴。8.7 「残った目標は小倉以外は不適當→東京を推奨」
8.9 小倉は雲量3/10、晴。some haze and heavy smoke 「前日8日白昼に行われた八幡焼夷空襲の余燼と考えられる」3回爆撃航程→長崎へ。50分後に長崎（浦上）雲量7-10/10、「雲の孔を通して爆撃」11時01分、最後の30秒は目視→照準点より3.4キロ北の浦上地区に。テニアン島には帰還できず、沖縄に。
第3の原爆を東京に。それは「それは上層部が考えること」
小倉、長崎には捕虜収容所があることが判明していたので、テニアンやグアムから「味方の兵士がいることが明らかな都市への原爆投下についてワシントンに照会」があったが、「捕虜収容所の存在は目標都市への選定に影響を与えない」との返答がワシントンからあった。
グローブス陸軍中将（原爆投下の総指揮官）「実戦実験だ」

- ⑱ ハワイへ行ったことがあっても**真珠湾のアリゾナ記念館**を訪れたことがあるか？
「真珠湾」で太平洋戦争が始まり、「ヒロシマ」「ナガサキ」で戦争が終わったことは誰も否定できない「歴史の実相」ではないのか。市民レベルで出来ること。
2008年 G8 下院議長サミット、ペロシ米下院議長、河野衆院議長。
2016年暮れ 安倍首相とオバマ大統領のパールハーバー訪問。

<なぜ、原爆は「特別」なのか>

- ⑳ そもそも原爆は通常爆弾による攻撃、被害とどう違い、何が「特別」なのか？
非人道性？ 無差別大量破壊兵器だから？ 爆発力？ 後症性なのか？

<世界のリーダー185人 ヒロシマ、ナガサキで発した言葉> (南々社)

- ① 広島、長崎の原爆資料館の入館者1億3千万人、日本の総人口を超える。
リーダー、著名人は3千人。そのうち185人を抽出。書き言葉と話し言葉を収集。
広島、長崎の芳名録の管理の仕方の違い。長崎は年間ゼロの年が何年もある。
- ② オバマ、ゴルバチョフ、ローマ教皇、ノーベル賞受賞者、マリリンモンローなど
- ③ 中国、韓国からの首脳訪問はない。アジアからの首脳訪問も極めて少ない。
- ④ 核配備放棄国・南ア、ウクライナ、ベラルーシ、カザフスタン、日本
- ⑤ 「8月ジャーナリズム」と揶揄されても。
年月の経過による記憶の風化→忘却→無関心→無知 8.6, 8.9を知る人は25%
被爆体験の伝承→継承→メディアの使命。全国、世界への発信。
広島、長崎出身の若者の東京、大阪での驚き。アメリカ人にとっての「ヒロシマ」。
生存被爆者の平均年齢84.53歳。「最後の被爆者が亡くなりました」と報じる日。
- ⑥ 樹木希林さんの言葉「72歳で初めて。これじゃ次の世界に語れませんね」
バースタインの言葉「言葉が多すぎる。行動が必要なのに」

<G7サミットの直前と直後の内閣支持率の変化、政局・選挙>

開催時	開催地	政権	直前と直後の内閣支持率	政局・選挙
1979.6	東京	×大平	低下	10月総選挙敗北、翌年急死
1986.5	東京	○中曽根	横ばい	7月ダブル選挙で自民大勝
1993.7	東京	×宮沢	総選挙中のサミット、	過半数割れ、政権交替
2000.7	沖縄	×森	低下	翌年4月退陣
2008.7	洞爺湖	×福田	低迷のまま	9月に退陣
2016.5	伊勢志摩	○安倍	微増	7月参院選で勝利
2023.5	広島	岸田	?	年内に総選挙?